



「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進

なくそう犯罪通信

平成23年9月号

発行・編集

広島県警察本部
安全安心推進課
〒730-8507
広島市中区基町1-4
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

◎ 社会の規範意識向上対策の推進

1 自転車盗対策

平成23年7月末の県内における自転車盗の認知件数は3,670件で、1日当たり約17台が被害に遭っています。被害者は、高校生が約27%・中学生が約13%・大学生が約11%です。発生場所は、駐輪場が約65%、道路上が約15%となっています。

なお、盗難被害に遭った自転車のうち約半数は無施錠です。施錠されていても防犯性の低い鍵では、簡単に破壊され被害に遭っています。

被害を防止するためには、

- 壊されにくいJIS規格のシリンダー錠の使用
- ワイヤ錠などを併用したツーロックの徹底
- 路上などに駐輪せず、明るく管理の行き届いた駐輪場の利用

等が効果的です。

2 万引き対策

平成23年7月中の県内における万引きの認知件数は1,986件で、全刑法犯に占める割合は約13%と依然として高い状態にあります。万引きの被疑者は、少年が約38%、60歳以上が約29%です。

このような状況から、県警では、「万引きされにくい」店舗づくりや「万引きは犯罪である」との規範意識を醸成するため大型店舗等と協働・連携した「万引き追放宣言」の店舗(H23.7末:2,503店舗)拡充等万引き対策を推進しています。

※ 広報啓発ポスターの作成

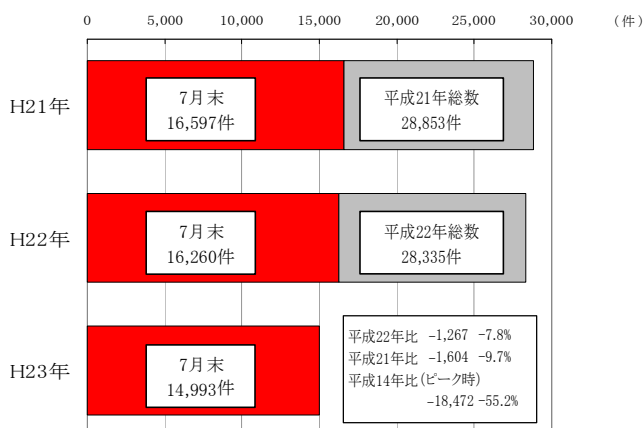
安全安心推進課では、社団法人広島県防犯連合会及び地元プロスポーツ球団である株式会社広島東洋カープ、株式会社サンフレッチェ広島の協力を得て、「自転車盗難防止」「万引き防止」のポスターを作成しました。県内の公共施設、スーパー・コンビニ等の店舗及び職場防犯リーダー事業所等に掲示されています。



↑サンフレッチェ 西川周作選手

←カープ 前田健太選手

◎ 県内の刑法犯認知状況 (H23.7末現在)



◎ 県内の交通事故発生状況 (H23.7末現在)

- 死者数が、前年の同じ時期より16人減少しています。
- 死者数に占める高齢者死者数の割合は45.5%です。(全国平均47.5%)

区分	H23.7末	H22.7末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	8,717件	9,209件	-492件	-5.3%	
死者数	55人	71人	-16人	-22.5%	
負傷者数	10,936人	11,547人	-611人	-5.3%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	2,486件	2,550件	-64件	-2.5%
	死者数	25人	18人	7人	38.9%
飲酒	事故件数(1当)	65件	95件	-30件	-31.6%
	死者数	6人	1人	5人	500.0%

◎ 侵入窃盗の現状

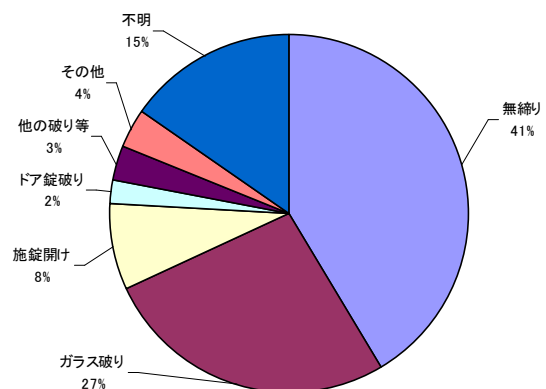
侵入窃盗は、本年7月末現在で1,155件(被害総額約2億5,210万円)発生し、前年同期比では149件(被害総額約1億4,000万円)減少しました。侵入窃盗の中で割合が高い手口は、空き巣(不在の住宅に侵入し金品を盗む手口)で約35%、忍込み(夜間就寝時に住宅に侵入し金品を盗む手口)で約16%でした。

犯人の侵入手段は、右図のとおり、無締り箇所からが約41%、ガラス破りが約27%となっています。

被害を防止するため、短時間の外出の際でも必ず鍵を掛け、就寝時は戸締りをしましょう。また、防犯性能の高い鍵やサッシなど、防犯建物部品(注)等の設置も効果的です。

(注) 防犯建物部品「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」が公表している「防犯性能の高い建物部品目録」に掲載された建物部品で、CPマークが貼付されています。

犯人の侵入手段



平成23年-平成27年

なくそう**犯罪** ひろしま**新**アクション・プラン

～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

